

衛生学の研究への誘い

上島通浩

【はじめにお読みください -このウェブページの目的-】

このウェブページは、医学部で行われている研究、特に名古屋市立大学（名市大）の衛生学教室（注：医学部では「研究室」を「教室」と呼ぶ習慣があります）の研究に関心のある方を対象に、テーマの一部（環境中の化学物質に関する研究）を例示的に紹介しようと作成しました。私たちの研究内容の紹介にとどめず、研究者としてのやりがいや進路についても教室主宰者である上島が私見を述べ、さまざまな方に衛生学の研究をより身近に感じていただくことをめざしています。

大学生以降の方、特に、医学部（医学科）以外に所属して大学院生になることを検討中の方、また、衛生学の研究に興味のある方は、「衛生学の研究への誘い（2）-研究への道-」から読んでいただくのが良いと思います。私の研究室の研究内容に手っ取り早く触れたい方は、「衛生学の研究への誘い（3）-名市大衛生学教室における研究-」からお読みください。

「衛生学の研究への誘い（1）」は、これからどう生きていくか、進路、もっ

と具体的にいえば進学先について、医学部を目指すこともありうるかもしれないけれど迷っている、高校生くらいの年代の方を念頭に書きました。そのことをご了承の上、お読みいただければ幸いです。

なお、この文章は社会のみなさま、そして科学に対して誠実であるように書いたつもりですが、化学物質のリスク評価は、深さとともに奥行きが非常に広い、学際的な領域です。私自身、勉強が足りずに知らないことがたくさんあります。また、リスクの捉え方やその管理においてはさまざまな考え、立場があります。このウェブページに書いた内容に関して、この点はまちがっている、記述が正確さに欠ける、考えが甘い、狭い、偏っている、というご批判がありうると思います。ご教示いただく機会があれば、それを活かしながら、私も勉強を続けていきたいと考えています。ちなみに、書かれた内容は一研究者としての私見にもとづくものであり、国、大学をはじめいかなる公的機関の見解とも無関係です。その点をご理解いただきますようお願いいたします。